

平成 28 年度	市長公室の取り組み実績
	<部の構成> 秘書課、広報課、広聴相談課、人権政策室

## 1. 重点施策・事業

### (1) 効果的な情報発信の推進

重点施策・事業 における目標	<p>枚方の魅力を広く市内外へ発信するため広報スキルの向上を図り、効果的な情報発信を進めます。</p>
平成 28 年度の 取り組み	<p>広報アドバイザーを設置し、本市の広報活動について意見を求め、見直し・改善を行うとともに、その取り組み内容についてホームページなどで公表していきます。</p> <p>情報発信のタイミングや手法などについて、研修等により能力向上を図り、広報活動が効果的に展開できるよう進めます。</p> <p>情報が探しやすく見やすい「(新) 市ホームページ」の導入や、フェイスブック、ツイッターなどを使った、即時性の高い情報発信を進めます。</p> <p>市役所窓口や手続き案内、防災情報などを掲載した保存版および点字・録音版の「ひらかた便利帳」を発行し、全戸配布します。</p> <p>平成 28 年度当初予算：147,100 千円</p>
平成 28 年度の 実績	<p>効果的な情報発信を推進するため、4 月に設置した広報アドバイザーとの会議を毎月行い、そこで得た助言等を本市の広報活動に活用し、助言内容をホームページで公表するとともに、各課広報担当者や各部情報発信リーダーを対象とした情報発信の研修を実施しました。また、ツイッター、フェイスブックへの投稿を積極的に行い、市のイベント周知等に努めました。</p> <p>ホームページでは、平成 29 年 3 月に新 CMS を導入し、システムのクラウド化を行うとともにサーバーを 24 時間 365 日保守点検可能で地理的にも災害に強いデータセンターに設置しました。これにより、災害に強いホームページとなるだけでなく、サーバーの窓口が一元化され、障害発生時のより迅速な対応が可能になりました。</p> <p>また、ひらかた便利帳は広告事業者との共同発行により 20 万部作成し、2 月に全戸配布しました。</p> <p>平成 28 年度決算：95,704 千円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

## (2) 平和施策や人権施策の推進

重点施策・事業における目標	悲惨な戦争の経験を風化させることのないよう、戦争の恐ろしさや平和の尊さを若い世代に伝えるとともに、一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりに取り組みます。
平成 28 年度の取り組み	<p>市民一人ひとりの平和に対する意識の醸成を図るため、「平和の燈火（あかり）」をはじめ、平和資料室のパネル展示、平和映画会、講演会などに取り組みます。</p> <p>人権が尊重されるまちづくりの実現に向け、より多くの市民が、人権について身近に感じ考える機会となるよう講座や映画会など多様な人権啓発事業を展開します。</p> <p>平成 28 年度当初予算：6,025 千円（平和啓発） 平成 28 年度当初予算：5,239 千円（人権啓発）</p>
平成 28 年度の実績	<p>「平和の燈火（あかり）」をはじめ、平和資料室のパネル展示、平和映画会、講演会などを実施し、市民一人ひとりの平和に対する意識の醸成に努めました。また、人権が尊重されるまちづくりの実現に向け、より多くの市民が、人権について身近に感じ考えていただける機会となるよう、講座や映画会など多様な人権啓発事業を実施しました。</p> <p>平成 28 年度決算：4,114 千円（平和啓発） 平成 28 年度決算：5,239 千円（人権啓発）</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

## (3) DV 予防や男女共同参画の取り組みの推進

重点施策・事業における目標	<p>次代を担う子どもたちを守り、暴力によらない問題解決方法等を身につける DV 予防や、男女共同参画の理解を深める学習を推進します。</p> <p>また、男女共生フロア・ウィルの利便性を高めるとともに、関係機関と連携し、啓発事業や相談事業の充実を図ります。</p>
平成 28 年度の取り組み	<p>教育委員会と連携し、市立小学校の小学 4 年生を対象に、「DV 予防教育プログラム」を昨年より拡大して実施します。</p> <p>男女共生フロア・ウィルの利用実態を検証し、さらに利用しやすい施設となるよう検討を進め、順次改善に取り組むとともに、男性や子どもも含め、市民が男女共同参画について主体的に考えられるよう「市民参画型男女共同参画啓発事業」を実施します。</p> <p>平成 28 年度当初予算：2,688 千円（DV 防止対策事業経費） 平成 28 年度当初予算：10,354 千円（男女共生フロア経費）</p>

平成 28 年度の 実績	DV 予防教育プログラムは、対象校を昨年の「6 小学校 15 クラス」から「7 小学校 19 クラス」へ拡大し実施しました。市民参画型男女共同参画啓発事業として再編した「ウィル・フェスタ 2016」では、起業を目指す女性によるワンテーブルショップや市民団体による講座・展示などを行い、市民が主体的に男女共同参画について考え、交流する場としました。	
	また、男女共生フロア・ウィルの利便性を高めるため、平成 29 年 3 月にサンプラザ 3 号館へ移転を行いました。	
	平成 28 年度決算：1,931 千円（DV 防止対策事業）	平成 28 年度決算：9,926 千円（男女共生フロア経費）
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】	

#### （４）「市長への提言」の公表

重点施策・事業 における目標	多くの市民に市政に関心を持っていただき、協働によるまちづくりを進めるため、「市長への提言」について市民に情報提供します。	
平成 28 年度の 取り組み	年間 300 件を超える「市長への提言」の要旨と市の考え方について、原則、月 1 回ホームページで公表していきます。	
平成 28 年度の 実績	「市長への提言」221 件について対応を行い、「公表の考え方」に基づき、提言の要旨と市の考え方を回答の翌月にホームページで公表しました。	
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】	

## 2. 行政改革・業務改善

### （１）新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	FM ひらかたについては、平成 26 年 3 月に策定した「経営改善プログラム」に基づき、引き続き経営改善に向けた取り組みを促す。また、枚方人権まちづくり協会については、平成 28 年 3 月に策定した「経営プラン」に基づき、自立的運営への取り組み並びに特色ある事業の実施を促す。

実績	<p>FM ひらかたが平成 29 年 3 月に策定した第 2 期経営戦略プログラム（平成 29 年度～31 年度）の策定過程において、同社が設置した策定委員会に職員を派遣し、経営健全化の促進に向けた取り組み等、プログラムの内容について、市の立場から意見を述べた。同プログラムでは、災害時における体制の確保やリスナーの拡大、安定した財政基盤の確立を基本方針として掲げており、本市としてそれらの目標達成に向けた進捗管理及び助言・指導等を行うための仕組みの構築に向けた検討を開始した。</p> <p>また、特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会は、平成 28 年 3 月に「経営プラン」を策定した。同プランに基づき、会員増による自主財源の拡充と運営にかかる経費等の縮減を図り、自立的運営への取り組みを促した。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-13. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（車両運転業務）	車両運転業務については、「技能労務職員が従事する業務について」〈考え方〉に基づき、秘書業務の一環として、円滑で効率的な業務の執行を確保する観点から、適正配置に向けた取り組みを進める。
実績	<p>車両運転業務については、「技能労務職員が従事する業務について」〈考え方〉に基づき、秘書業務の一環として、円滑で効率的な業務の執行を確保する観点から、検証を重ねているが、委託化については、突発的な対応やそれに伴うスケジュール調整、迅速な事務執行の確保等の面において、現段階では課題が多い状況である。また、職員の適正配置については、今後も引き続き検討を進めていく。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

## （2）業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
ワークライフバランスの推進	ワークライフバランスを推進するため、効率的な事務執行を図り、時間外勤務の縮小に努める。
実績	<p>各事務の繁忙状況の把握に努める終礼の実施や通常業務の見直しなどにより、効率的な事務執行の確保に努めた。</p> <p>男性職員が約半年間育児休暇を取得するなど、部内のワークライフバランスの推進に努めた。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
窓口・電話対応の改善	窓口や電話対応におけるトラブル事例及び改善策を部内で共有し、市民の満足度の向上を図る。

実績	窓口や電話での市民からの意見等は、職務の執行に対する意見・要望等記録様式に記入し課内で共有し、今後の対応に生かすよう努めた。	
	窓口・電話における対応姿勢、不当・不適當な要求などへの対応について、マニュアル研修及び具体的事例の研究などの部内研修を行った。また、各課におけるトラブル事例を検証し、部内共有を図り、今後の部内連携についての協議に努めた。	
取り組みに対する達成状況		【 ○ 】

テーマ	取り組み内容・目標	
業務効率の向上	職場の整理整頓、書類等の適正な管理、業務導線に配慮した書類の収納や机・書庫の配置を行い、業務効率の向上に取り組む。	
実績	新たな部長室及び会議スペースの確保に伴い、仕事の流れや人の動線に配慮したレイアウト編成を行った。また、男女共生フロア・ウィルの移転に際しては、個人情報に配慮した上で、事務の効率化を意識した机・書庫の配置を行った。	
	所管する簿冊、各種冊子などの保管場所を定め、整理整頓や適正な管理に努め、業務効率の向上に向けた取り組みを実施した。	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

### 3. 予算編成・執行

- ◆平成 26 年 3 月に策定した FM ひらかたの「経営戦略プログラム」に基づき、FM ひらかたへの放送委託料を平成 26 年度の売上高の 60%となるよう設定し、対前年度比で 209 万円削減しました。

実績	第 1 期「経営戦略プログラム」に基づき、FM ひらかたへの放送委託料を対年度比で 209 万円削減しました。	
	また、平成 29 年 3 月に策定された「第 2 期経営戦略プログラム」の策定委員会において、引き続き放送委託料の削減に取り組むとともに、安定した財政基盤を確立するよう、市の立場から助言等を行いました。	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

- ◆平成 27 年度の改革・改善サイクルの取り組みにより、男女共同参画啓発事業とウィル・フェスタ開催事業の経費を見直し、対前年度比で約 44 万円削減しました。

実績	男女共同参画啓発事業とウィル・フェスタ開催事業の経費を整理・統合し、決算額を対前年度比で約 53 万円削減しました。
	取り組みに対する達成状況

◆安定した広告収入の確保

平成 28 年度予算額で、バナー広告 約 209 万円、広報ひらかた広告 約 657 万円を確保します。

実績	平成 28 年度は、バナー広告約 250 万円、広報ひらかた広告約 800 万円を確保しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

#### 4. 組織運営・人材育成

◆職員がさまざまな人権課題について知識を深め、人権尊重の視点を持って職務が遂行できるよう研修を実施します。

実績	人権擁護推進本部研修において、8 月 1 日に障害者差別解消法、11 月 15 日にセクシャルハラスメント、12 月 21 日には部落差別をテーマに職員研修を実施し、職員の人権意識の高揚に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

◆新たに策定した「第 3 次枚方市男女共同参画計画」や「女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画」の取り組みを推進するため、関係部署と連携し職員研修を実施します。

実績	総務部人事課と共催により、男女共同参画推進本部研修において、第 3 次枚方市男女共同参画計画策定の基礎資料とするために実施した、「男女共同参画に関する市民アンケート調査」の分析結果の周知と、本市における男女共同参画推進について職員研修を行い、男女共同参画に関する理解を深める機会としました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

◆部内の職員を対象に、運営方針に基づく組織目標の共有化を図るとともに、業務に必要な知識を習得し、能力を向上できるよう、市内外への研修への積極的な参加と計画的な OJT を進めます。

実績	運営方針に基づく組織目標の共有化については、各課で共有するとともに、部内事務連絡会議で進捗管理を行いました。 新たに配置された職員を対象にした毎年実施している専門の研修へ参加し、必要知識を習得するとともに、例年実施している研修以外にも市内外で開催される新規の研修へ積極的に参加し、これまで以上に能力の向上に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

## 5. 広報・情報発信

- ◆ 市政に関する多くの情報を、効果的な発信につなげることができるよう、各部の情報発信リーダーをはじめ、各課の広報担当職員などを対象に研修を行い、全庁的な情報発信意識の向上に努めます。

実績	各部の広報力を強化し、積極的かつ効果的な情報発信を推進するため、情報発信リーダー会議を5月と9月に開催したほか、各部情報発信リーダーから出された重点PR事業についての広報アドバイザーからのコメントを一覧にして送付することで、各情報発信リーダーの取り組み状況等の共有化を図りました。 また、9月に広報担当者に向けて、情報発信に必要なマーケティング発想や目を引くチラシ・ポスターの作り方など、より実践的な内容の研修を実施し、情報発信力の強化を図りました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆ 部内の職員を対象に、災害時にホームページへの掲載などを速やかに行えるよう、訓練を行います。

実績	3月に実施した部内の災害対応訓練時に、災害時におけるホームページの掲載方法などについての説明を行い、課内に持ち帰り共有化することで、災害時のさらなる対応力の強化に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】